

テーマ名

「アプリで広がる陶磁器デザイン」

(概要)

陶磁器の絵具の色のデータベースを掲載し、その色でデザインができるアプリを開発した。アプリ化することで、陶磁器産地のものづくりのデジタル化・効率化が大きく期待できる。

(企業発表者) ピノー株式会社 代表取締役 松本 祐典

(公設試発表者) 佐賀県窯業技術センター デザイン部 特別研究員 松本 奈緒子

1. 成果品（製品）紹介

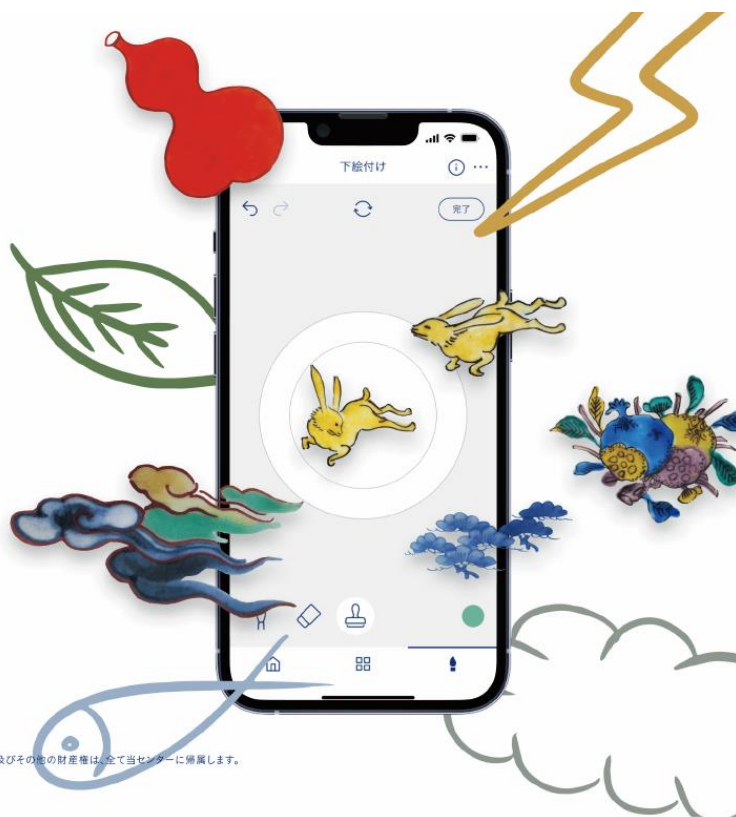


絵付けを自由に。

いろえ iroeは、佐賀県の磁器に用いる絵具の色や文様を使って、スマホで絵付け体験ができるお絵かきアプリです。



本サービスに関するコンテンツ及び個々の情報、商標、画像、デザイン等に関する著作権、商標権その他の知的財産権及びその他の財産権は、全て当センターに帰属します。本サービス内で公開されている伝統文様のもととなった資料の所有権は、佐賀県立九州陶磁文化館に帰属します。



2. 開発背景（テーマとの出会い、人との出会い等）、苦労話など

伊万里・有田焼等の特徴である絵付けやその文様に使用されている絵具の色は大きな魅力であるが、その絵具は販売するメーカーごとに色のバリエーションが異なっており、明度や彩度の基準もなく特定の色を探したいときにメーカーの枠を超えた系統的な色の一覧を見ることができなかった。そのため、陶磁器の新商品開発の際にカラーデザインで決めた色を見つけるために絵具メーカーごとに探し、色がなければ混色し、テスト焼成を何度も行って調整するなど、製品としての最終的な色を再現するまでに多くの時間と手間がかかっていた。そこで、以前窯業技術センターでは、カラーデザインツールとして、上絵具の色の系統化、データベース化の取り組みを行った。そのデータを活用し、さらに利便性を高め、様々な活用の可能性を広げられるよう、アプリの開発を行った。

3. 製品化までのプロセス、体制など

佐賀県窯業技術センターが行った絵具のデータベース化で得られた絵具の数値的データを利用し、ピノ一株式会社で実際にアプリ開発を行った。産地の中でもものづくりに利用できる実用性と、一般の人が陶磁器のものづくりに触れて楽しめる汎用性も備えたことから、操作性やデザインにもこだわった。普段知ることのできない陶磁器の製造工程を学ぶツールにもなるよう、産地内の窯元等にも協力いただき、開発を進めた。

4. 製品化、販売に成功したポイント

アプリには色のデータベースと、その色を使って絵付けやデザインができる機能を加え、クリエイティブなものづくりに活用していただけるアプリが開発できた。また、これまで敷居が高かった陶磁器のデザインに、一般の人にもより気軽に触れてもらえるツールとなった。

5. 今後の展開、波及効果など

今後はアプリの活用方法として、佐賀県内や肥前陶磁器産地の事業者やデザイナー、クリエイターの方々に、陶磁器デザインツールとしてものづくりに利用していただくことはもちろん、陶磁器を学ぶ若者や学生にデザインツールとして利用していただくことや、一般ユーザーや陶磁器ファン、デザインに興味がある方々に陶磁器のデザインやものづくりをアプリで体験していただきたい。また、デザインコンテスト開催など、アプリならではの活用方法を検討し、産業の活性化や利便性の向上、新たな陶磁器ファンの獲得を期待している。

発表者紹介（企業）

ピノ一株式会社

代表取締役 松本祐典

（企業として開発に携わった感想、企業にとってのメリット等）

2021年8月に有田町に進出し陶磁器産地の現状を調査し、産業構造の変革が必要と感じておりました。今回、研究成果の産業応用に関わることで、産業の活性化の糸口が見えてきました。産業の活性化につながるよう、引き続き佐賀県窯業技術センターさまとも密に研究や開発を取り組みたいと思います。

発表者紹介（公設試）

佐賀県窯業技術センター

特別研究員 松本 奈緒子

（研究者として開発に携わった感想）

研究成果を活用して、陶磁器産地の特徴を活かしつつも現代のニーズにも対応したアプリの開発につながり、とても嬉しく思います。今後もセンターだけでなく、一緒に産地を盛り上げていただけるピノ一さんのような企業さんとも協力しながら、陶磁器産地のための研究や開発等ができればと思います。

企業情報

■名称：ピノ一株式会社

■代表者：代表取締役 松本祐典

■創業：2018年1月

■資本金：1,000,000円

■従業員数：14人

■所在地：（本店）〒810-0022 福岡県中央区薬院 3-12-22 美山ビル 402

（支店：有田ランドマーク）〒844-0024 西松浦郡有田町赤坂丙 2351-169

■TEL：092-791-5760

■URL：<https://pino.ooo>

■主力商品

・総合デザイン、映像ディレクション、事業開発、ブランディング等